

ミニガイド報告

記 T

○ バードウォッチング入門

1. 日時：2022. 10. 1 (土) 9:50 ~ 12:00 天気 晴れ
2. リーダー：U、O、T ききみみメンバー：1名
3. 参加者数：大人 10名 子供 6名 対象者：小学生以上
4. ねらい：バードウォッチングを通して自然の楽しさや大切さを感じてもらう。
5. 活動場所：多目的ルーム～ベランダ～芝生広場～散策路①～②～水飲み広場～管理道～センター
6. 活動内容：双眼鏡と図鑑の使い方を丁寧に説明し、簡単な鳥の特徴や生態を紹介した後、ゆっくりと森を歩きながら野鳥観察を楽しむ。

時間・場所	内 容
9:50 多目的ルーム	・双眼鏡とものさし鳥の説明。大声を出して鳥を驚かさなことを約束。
10:10 ベランダ	・ピントを合わせる練習やヒヨドリの特徴を図鑑やクイズを手掛かりにとらえる。
センター前 芝生広場	・ミサゴが確認できなかった人もいたが、対岸の7の標識にピントを合わせた。
10:30 散策路①～② 東屋周辺	・シカがしばらく2頭いたので、観察する。クリの実の3個入っているのも観察。
水飲み広場	・飛んでいる飛行機にピントを合わせるとともに、双眼鏡で太陽を見ないことを約束。
11:00 11:40 多目的ルーム	・コゲラの声やメジロの飛び交う様子をしばらく観察する。
12:00	・ヒヨドリの波状飛行の様子を確認できた。
	・南斜面のアカマツの樹上にヤマガラを発見。少し開いた実を啄んでいたようだ。
	・鳥の姿は見られなかった。
	・メジロがアケビの実（開きかけ）を啄んでいる様子を比較的近い場所から観察できた。
	・ヒサカキの実を見せて、鳥の好きな実の一つであることを紹介する。
	・北の広場で、肉眼で見られるほどエナガが群れていて子供たちも観察しやすかった。
	・南の広場では、枝から枝へ飛び交うエゾビタキとコサメビタキを発見。
	・渡りの途中で、10月ぐらいまで見られることや、昆虫をフライイングキャッチすることを紹介する。写真で、両者の違いを確認する。
	・管理道を通ってセンターに戻り、多目的ルームで鳥合わせをする。
	・チラシを配布し、次回ミニガイドの案内をする。アンケート依頼。
	・解散

7. 鳥合わせ

・確認できた種

ミサゴ、コゲラ（声）、ヤマガラ、ヒヨドリ、ウグイス（地鳴き）、エナガ、メジロ、エゾビタキ、コサメビタキ、ホオジロ、シジュウカラ（帰路） 計11種